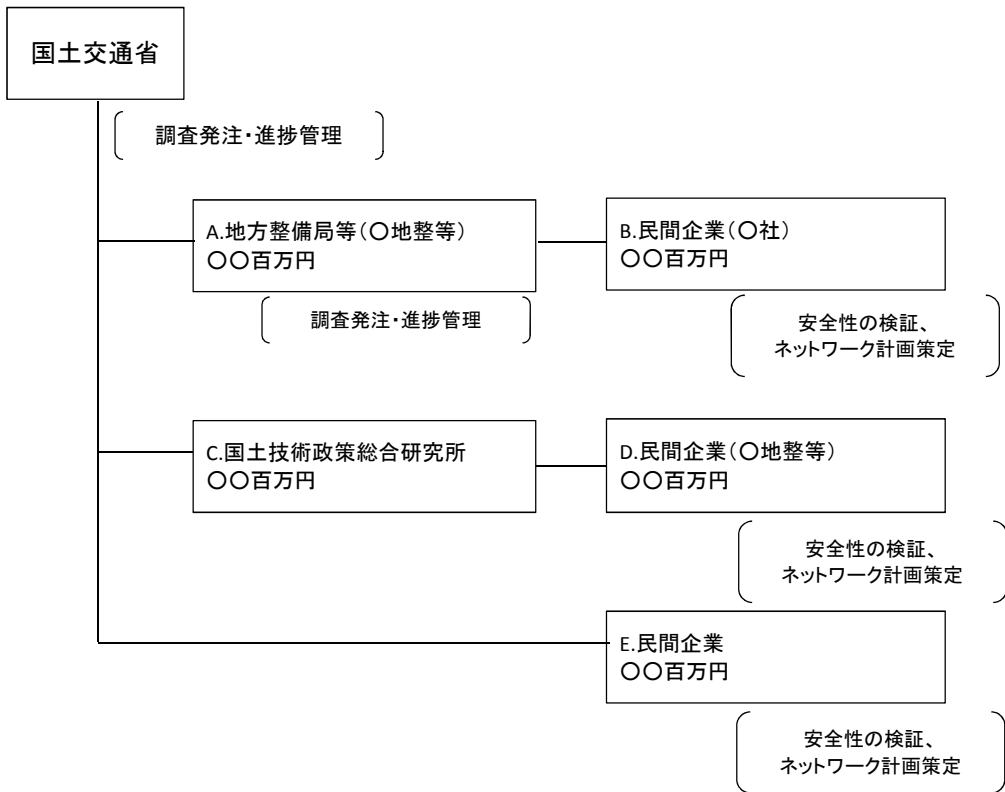


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	自転車ネットワークの着実な推進に係る検討経費		担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H25/H27		担当課室	環境安全課 道路交通安全対策室		室長 阿部 悟		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>自転車は日常生活における身近な移動手段であるとともに、環境に優しい交通手段としても認識されており、その利用ニーズが高まっている。一方で、自転車通行空間の整備は十分でなく、交通事故全体に占める自転車関連事故の割合は拡大傾向にある。そこで、安全で快適な自転車利用環境の創出に向けて、各地域における自転車ネットワーク計画の策定や自転車通行空間の整備を促進するための検討を行う。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>各地域において、自転車ネットワーク計画の作成やその整備等が進むよう、以下の検討を行う。</p> <p>(1)自転車ネットワーク計画作成の促進に係る検討 (2)自転車通行空間の設計に係る検討 (3)自転車利用環境整備のためのガイドラインの充実・改善に係る検討</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				91	78	
		繰越し等						
		計				91	78	
	執行額							
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	・自転車ネットワーク計画の策定数	成果実績			-	-	-	-
		達成度	%			-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・ガイドラインの充実・改善	活動実績 (当初見込み)			-	-	-	-
						-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	道路交通安全対策費	91	78					
	計	91	78					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	道路交通の安全性の確保・向上に奇与		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審査予定。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>自転車ネットワーク計画作成の促進に係る検討や自転車通行空間の設計にかかる検討などを実施し、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の充実・改善を行う予定。これにより、各地域において自転車通行空間の整備や自転車の通行ルールの徹底など、ハード・ソフト両面の取組が行われ、自転車が安全で快適に通行できるとともに、歩行者の安全性が高まるような自転車の利用環境整備が進むことが期待される。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>近年、自転車の利用ニーズが高まっている反面、自転車関連の交通事故が増加している状況であることから、自転車が安全で快適に通行できる環境整備を着実に推進させるとともに、歩行者にとって安全で快適に通行できる構造に関する技術基準を検討すること。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
<p>自転車が安全で快適に通行できるとともに、歩行者の安全性が高まるような自転車利用環境の創出のため、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の充実・改善のための検討を進める。</p>						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	214	平成24年	0225

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					